The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	阪大日本語教育学研究 第12号 はじめに
Author(s)	筒井, 佐代
Citation	阪大日本語教育学研究. 2021, 12, p. none
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/83185
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

はじめに

この論文集は、2020 年度に大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻で開講された、日本語教育学基礎論ⅡB（博士前期課程）、日本語教育学特別研究 B（博士後期課程）の授業での発表とディスカッションおよび動画教材作成を元に書かれた論文を掲載しています。今回掲載された論文では、補助動詞「V-てある」「V-ちゃう」を扱っています。

日本語教育で扱われる補助動詞の用法については、教師用の参考書等で解説されてはいますが、実際に使用される補助動詞の用法はそれよりも多様であり、学習者にとっては意味や使用動機が理解しにくいものも多くあります。以下の事例を見てみましょう。

> F149：うち昨日は掃除してたじゃん。で、お姉ちゃんにも手伝ってもらってやってたんだけど、そろばんが出てきたのよ。あ、そろばんなんていらないわねーとか言ってぽんぽこぽんぽこ捨てててて、でも、しばって置いてあってー、で、そ、何かそれでほかの作業してる、してて何か、こう、しゃべってて、そろばんも捨てたしねーとか言ってたらお母さんそばで、そろばん捨てたのとかって急に言い出して。ふんとか言って、うん、だって今使わないしって言ったら、（うん）だめ、捨てちゃとか、探しなさいとか言ってすっごい切れて、もう捨てちゃったよって言ったら探しなさいとか言って。で、探して、で、袋を、ま、手作りの袋、（うんうん）袋はいいよねっていったら袋もやとか言って。で、探して、じゃ、ここ置いとくからとか言って。ま、当分はねとか言ってすっごい切れててさー。なんでそろばん捨てちゃいけないんだろう。
>
> （名大会話コーパス data011 より）

この事例は、そろばんを捨てたことを母に怒られたことについての不満を述べているナラティブです。この中での「手伝ってもらって」「出てきた」「置いてあって」「捨てちゃった」「置いとく」という補助動詞は、それぞれ従来の解説では「恩恵」「空間的移動」「状態の継続」「完了」「準備」という意味を表すとされています。しかし、本論文集では、このような抽象的な意味記述ではなく、これらの補助動詞が会話の中で使われる動機をできるだけ具体的に日本語学習者に理解してもらえるような解説を考えることを目指しています。そのためには、上の事例では、話者が不満を抱くに至った状況を聞き手に理解してもらおうとしているということ、そのために話者と姉との関係、そろばんの状態、母とのやりとりでのお互いの感情など、当時の状況を語る中で補助動詞が使用されているということを考慮に入れなければなりません。それに加えて、今回は他の言語における同様の場面での発話がどのような言語形式で表現されるかということも考慮しました。日本語のような補助動詞が存在する言語と存在しない言語があり、存在していても日本語と全く同じではないなど、どの言語も日本語と一対一で対応しているわけではありません。そのため、日本語学習者にとっては、母語の影響によってなおさら理解が難しくなるといった問題が生じており、どの言語の話者に対してどのような説明が有効であるのかを考えることも重要な課題です。

それぞれの補助動詞の多様な用法の内の一部を扱うことしかできませんでしたが、どの論文も、日本語学習者にとって理解しやすく運用につながるような補助動詞の解説を見いだそうとする意欲的な論文です。研究論文としては議論が不十分な点も多々あると思いますが、補助動詞の重要性を再発見する機会となれば幸いです。

大阪大学大学院言語文化研究科
筒井　佐代